

村内の文化・芸術作品を一堂に集め、郷土の文化・芸能の振興を図ることを目的とした『占冠村総合文化祭』。今年もたくさんの方の皆様の作品を出展いただき、大いに盛り上がりました。

文化祭には、延べ439名が来場。「これどうやって作っているの」「とてもきれいな形をしているね」と村民の作品を前に感嘆の声を漏らしていました。

茶道同好会の皆様は、着物に身を包みおしとやかな雰囲気であらゆる来場者をお出迎え。来場者は、差し出される日本伝統のお茶や和菓子、そして『和』の雰囲気を楽しましました。

ブックフェスティバルを同日開催

文化祭と同日、大型絵本の展示や読み聞かせを行うブックフェスティバルが、占冠村コミュニティプラザ児童室で開催されました。普段目にする機会が少ない大きな絵本。迫力ある絵本に子どもたちは興味津々で、絵本の世界に引き込まれているようでした。



『感動』をあなたに。
芸術に触れる文化の日。

占冠村総合文化祭

11月2日（金）、3日（土・祝）

芸能発表会

3日午後から実施された芸能発表会。フラダンスやトロンボーン、ピアノ、神楽などが披露されました。

日高フラスカール『レイアロハ』の皆様によるフラダンスでは、アップテンポからスローテンポなまでの優雅なダンスが披露されました。占冠中央小学校3・4年生は、占冠音頭にヒップホップの振り付けを入れてアレンジしたダンスを披露。小学生らしい元気な掛け声と息がぴったりあったダンスで会場を沸かせました。教育委員会社会教育担当の鈴木隼さんや、占冠村在住の横井香さんによる楽器演奏では、誰もが聞いたことのある曲が奏でられ、来場者は、トロンボーンやピアノの美しい音色に耳を傾けました。芸能発表会の締めは、占冠神楽保存会の皆様による演目『大蛇』。爺や婆の愛嬌あふれる演技に会場からは笑いが漏れ、2頭の大蛇や神による迫力のある舞いには思わず息を呑む場面も。物語を盛り上げるのに欠かせない太鼓や笛による演出も見逃せなく、出演者それぞれが自らの役割を見事に果たしていました。



①大きな絵本に興味津々。広げると自分の身体より大きいかも。②美しく優雅な踊りを披露。筒状の竹に切れ目がタテに入っている楽器『ブイリ』の動きにも注目。③小学生による占冠音頭をアレンジしたダンス。歴史ある音頭は、子どもたちにも受け継がれる。④⑤ピアノ・トロンボーンによる演奏。きれいな音色は心を落ち着かせてくれる。⑥占冠神楽保存会による演目『大蛇』。八岐大蛇により7人の姫が犠牲になるが、8人目の姫を救うべく武速須佐之男尊が立ち上がる。